

新検収棟「ウェルカムセンター」新設のお知らせ

三菱ふそうバス製造株式会社（本社：富山県富山市婦中町道場1番地、取締役社長：藤岡佳一郎、以下 MFBM）は、当社敷地内において、お客様の「おもてなし」空間として、ショールームを併設した、バス車両引き渡しを行う検収棟「ウェルカムセンター」（以下、ウェルカムセンター）を新設し、9月29日より稼働を始めました。

今回新設したウェルカムセンターは、大型バスを5台同時に検収可能にする5つのレーンに加えて、大型観光バスを2台展示することが可能な屋内ショールームを併設しました。製造したバスをお客様へ納車する前に、お客様と共に車両確認作業を行う検収設備を新設し、5つのレーンは可動式の仕切りにすることで、秘匿性を保つとともに、より正確な検収作業とお客様満足度の向上を図ります。また、MFBM 正面入り口道路に面したガラス張りのショールームには、完成車両を展示することで、ふそうブランドと企業認知度向上を目指します。

MFBM は、1950年にバスを製造する呉羽自動車工業株式会社として操業を始めてから今年で70周年を迎えます。現在では、約700名の従業員が働いており、ふそうブランドの大型観光バス「エアロキーン」「エアロエース」、大型路線バス「エアロスター」、そして小型バス「ローザ」を製造し、国内外に展開しています。

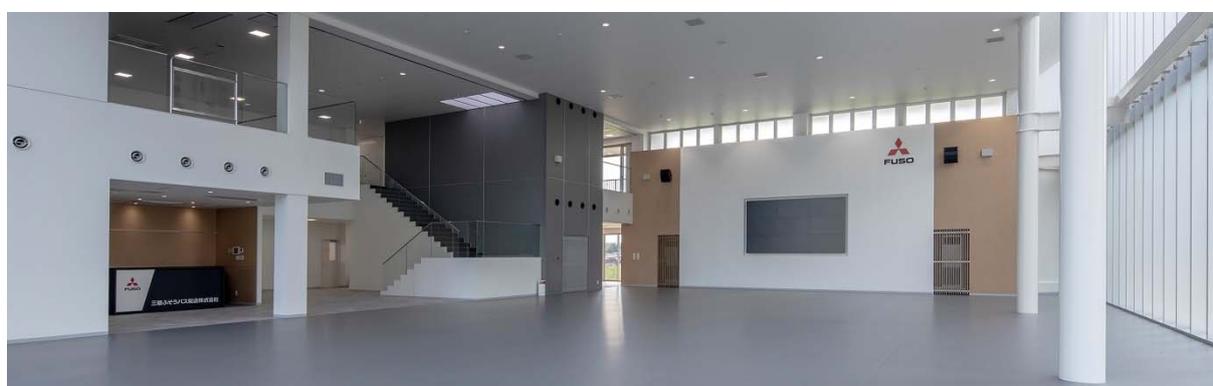
「最新鋭のウェルカムセンターは、ふそうバス事業の先進的な設備です。地域のみなさまと従業員、そしてバス事業に対する長期的なコミットメントの証です」（三菱ふそうバス製造取締役社長、藤岡佳一郎）



「ウェルカムセンター」落成式典テープカットの様子



「ウェルカムセンター」外観



「ウェルカムセンター」ショールーム



「ウェルカムセンター」検収ルーム